

平成 22 年 1 月 17 日
組織行動分科会 加藤

組織行動分科会議事録

日 時：平成 22 年 1 月 17 日（日）14:00 ～ 17:00

場 所：テクノ菱和 港営業所

参加者：石橋明、中田邦臣、宇於崎裕美、高橋祐一郎、酒井雄二、尾崎忠義、
加藤豊（記）

オブザーバー：関西電力の轟木さん

要 旨：

1、 春季江戸川大学公開講座について

各土曜日の午後 13:30～15:00 開催

1 月 30 日 石橋明（航空会社の焦燥が招いた中華航空機名古屋墜落事故）

2 月 6 日 中田邦臣（カネボウの粉飾事件に見るサラリーマンの悲哀）

2 月 20 日 茂木真（革新的イノベーションを阻む商品開発のパラドックス）

2 月 27 日 川路明人（薬の取り違い事故とその原因）

3 月 6 日 （鳩山政権は成功か失敗か）

講義者のプレゼンテーションの実施

① 川路さんの緊急入院対応：2 月 27 日（薬の取り違い事故とその原因）
の代替講座

酒井さんに代替の講義「医療事故を考える（仮）」をお願いする

酒井さんより内容説明、正式演題は後日連絡

2 月 14 日の定例会で再度説明いただく

② 中田さんより「粉飾決算と組織人としての行動」—カネボウ粉飾事
件を例として—（演題変更）の内容説明

2、 今までの講座の資料のまとめ

濱田さんに今まで行った資料が入るホルダーを作成していただき、各自が
アップロードするようなシステムの構築をお願いする。

3、 ホームページのアップデート

次回再度検討する。

4、 その他

① 話題

- ・ 旭化成の社風に関して議論された。(延岡の工場火災の対応などから監査役の機能が充実している会社組織であることがうかがわれる)
- ・ デュポンの社風に関して。(全社員の安全に対するモチベーションが高く、安全管理が徹底していると推測される)
- ・ 事件・事故の扱いの問題：事故に関しても業務上過失で処理される、刑事事件として取り扱われるため、再発防止の観点からは役立たない。
- ・ 組織内の見えないプレッシャーを組織行動的に捉えて行く必要がある。

② 江戸川大学の秋の講座に向けて、各自がテーマ等を考えておく。

③ 宇於崎さんが2月18日第14回おおた工業フェア併催 中小企業のための危機管理セミナーの講師をされる。

13:00~16:00、 会費 無料 keiei@pio-ota.jp

④ 分科会の共通テーマで研究し、年次大会で発表してはどうか。 企業（組織合併）の合併による組織行動的な観点での問題提起 具体的な事例を基に分科会会員でまとめて行ったらどうか。

図書紹介

「責任に時効なし」 * カネボウ粉飾決済関連の書籍
嶋田賢三郎
(株)アートディズ、1,800+税

次回の組織行動分科会は2月14日 (日)14:00~

テクノ菱和 港営業所にて

- ① 春季江戸川大学公開講座について
講義者のプレゼンテーションの実施
- ② 秋季江戸川大学公開講座について
- ③ 今までの講座の資料のまとめ
- ④ 失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会としての研究テーマ
- ⑤ ホームページのアップデート
- ⑥ その他

今後の分科会日程

2月14日(日)14:00~

3月14日(日)14:00~

以上